

株主の皆さまへのご挨拶とご報告

概況について

当期の我が国につきましては、政府による景気の底入れ宣言が5月に発表されたものの資産デフレ・物価下落により、所得・雇用情勢が悪化し、設備投資が減少するといった負の連鎖に陥っており、依然として厳しい状況が続きました。またユーロ圏やアジアにおいて景気の回復傾向がみられるものの、米国においては企業会計不信、大手通信社の破綻等によって米国経済の先行きに不透明感が増し、世界経済は不安定な状況で推移しました。



平成14年11月
代表取締役社長 CEO
森島 征夫

業績の回復について

食肉業界を取り巻く環境につきましては、BSEによる牛肉離れからの回復は顕著に見られますが、個人消費が低迷していることに加え、誠に遺憾ながら昨年より業界内で不祥事が続発しており、消費者の業界ならびに食肉に対する不信は極限に達するなど極めて厳しい状況にあります。

このような状況下、当社グループは経営理念に基づき、おいしくて安全で健康に役立ち、お客様に喜んでいただける魅力ある製品の提供を継続することにより、お客様から、より一層信頼される会社を目指して活動いたしました。その一環として「エスフーズ行動憲章」の策定を契機として、全社員に対し順法精神の再徹底を実施いたしました。営業面におきましても、「こてっちゃん20周年キャンペーン」など前向きな施策を展開した結果、当社の販売数量の回復度合いは、本年2月の販売数量が前年同月比48.9%であったのに対し、同8月には88.4%と順調に回復し、BSE問題から概ね脱することができたかと判断しております。

経営体質の強化について

また、「リエンジニアリング(破壊と創造による事業の再構築)」の実践によって、スリムで強靱な経営体質の構築に努めました。当中間期はこれらの経営努力もあり、販売数量は着実な回復を見せたものの、売上高は単価の下落を主因として198億2千9百万円、前年同期比28.8%減となりました。また、損益面は、原価低減努力により営業利益は昨年並まで回復いたしました。原料のほぼ全量が輸入であることから為替リスク対策として行っているデリバティブ(為替予約)取引による為替差損を営業外費用で計上したものの、経常利益は4億3千1百万円(前年同期比44.3%減)と計画を上回ることができました。中間純利益は米国会計基準変更に伴い米国子会社において暖簾代の減損を行った結果、中間純利益は1億4千6百万円、前年同期比56.7%減となりました。

今後の見通しと経営戦略について

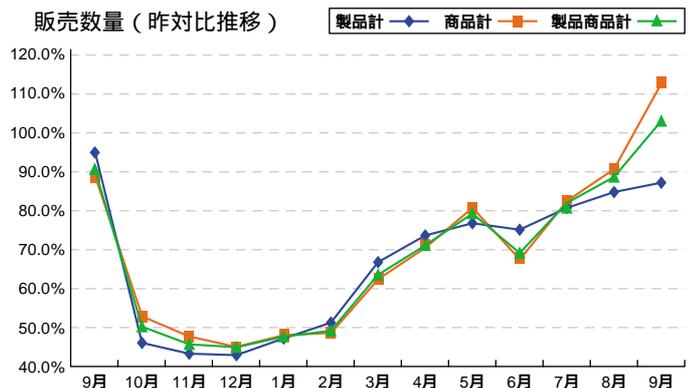
政府の景気浮場対策にかかわらず、国民の将来に対する不安が解消されておらず、消費低迷の長期化は避けられぬものと考えます。当業界におきましては、消費者の不信感は未だ根強く、厳しい状況が続くものと認識しております。当社グループは、経営理念の具現化に向け「信頼」と「付加価値」をキーワードに積極的に営業活動を行なってまいります。具体的には、引き続き、リエンジニアリングの手を緩めることなく「バラエティーミート世界一」「焼肉日本一」を目指して新たなビジネスモデル(存在価値があるもの、No.1であること、壊されないもの等)を構築し、厳しい環境下であっても、確実に収益を上げ得る盤石な経営基盤を築き、企業価値の向上に努めます。また、デフレ環境を踏まえ、売上高ではなく販売数量を重視し、マーケットシェアの拡大に注力してまいります。

Q1. 37期の見通しは、どうですか？

A. 本年2月の販売数量が前年同月比48.9%であったのに対し、同8月には88.4%と順調に回復し、BSE問題から概ね脱することができたと判断しております。9月以降につきましても、本年が発売して10年にあたる「牛もつ鍋」の10周年キャンペーンの効果もあり、順調に推移しております。したがって、平成15年2月期連結の売上高は、420億円(前期比2.9%減)、経常利益12億円(前期比505.3%増)、当期純利益は5億5千万円(前期比27億8千5百万円増)を見込んでおります。

Q2. エスフーズ単体の業績は、どのような状況ですか？

A. リエンジニアリングの成果が出はじめたこと、本年が「こてっちゃん」を発売して20年となることを記念して行っている「こてっちゃん20周年キャンペーン」の効果が出たことなどから9月の販売数量が、前年同月(BSE発生月ではあるが、売上面の影響はなかった)と比較して102.5%、前々年同月比92.9%となっており、また、10月につきましても、引き続き計画通り順調に推移していることをご報告いたします。



Q3. 部門別での概況は？

A. 部門別状況では、事業者向け販売部門は、売上高186億2千万円(前年同期比29.4%減)。消費者向け販売部門は、売上高11億9千8百万円(前年同期比18.7%減)。所在地別業績では、「日本」は売上高194億4千9百万円(前年同期比28.9%減)、営業利益5億5千8百万円(前年同期比4.8%減)。「アメリカ合衆国」は売上高3億7千4百万円(前年同期比24.8%減)、営業利益1千1百万円(前年同期比62.4%減)でした。

当社の部門別売上高(平成14年8月中間期)



Q4. 製品開発、市場開発は、どのようにすすめていますか？

A. 当社の製品開発、市場開発はストーリーづくりから始まります。そのために、「現状分析」から「問題点を発見」し、その問題点から発生する「マイナス要因」を抽出することにより、「問題解決する策」を提起し「検証」していきます。この ~ のストーリーなくして成功はあり得えないと考えます。例えば、「焼肉は厚切りの方がジューシーでおいしい」のが一般的です。ところが、商材によっては、厚切りにすると柔らかさが失われ、また切り方ひとつで柔らかさも変わってきます。こうした問題点を ~ のストーリーに基づいて、切れ目を入れる、スティック状にカットする、ハンドメイド(手切り)の要素を加えるなど、素材の良さを徹底的に研究し、ジューシーさや柔らかさを損なうことなくおいしくて、食べやすく、お客様に喜んでいただける製品開発を行っております。

Q5. 新規チャネル開拓や製造体制は進んでいますか？

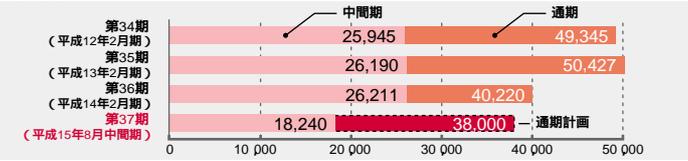
A. 多様化するニーズや新規チャネル開発への対応をスムーズに行うべく、エスフーズグループ全体で総力を挙げて取り組んでいます。グループ企業でのチャネル別製品の生産対応や主力製品の生産移管などにより、売場開拓による増産体制への対応も行っています。

Q6. 社内モラル向上のために行っていることは？

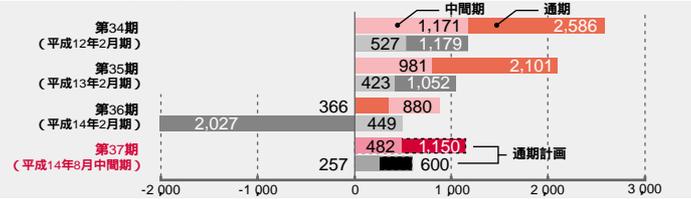
A. 「社是」及び「社訓」の精神に基づく「エスフーズ行動憲章」を制定し、社員への徹底を図りました。さらに、関係会社を含めたグループ全体で組織的に法令順守(コンプライアンス)に取り組むべく「法令順守委員会」を設置しました。消費者に対しての信頼と企業価値を高めることが、「強い会社を実現する」という経営ビジョンの達成に繋がるものと確信し、実行しております。

当社の営業成績および資産状況の推移

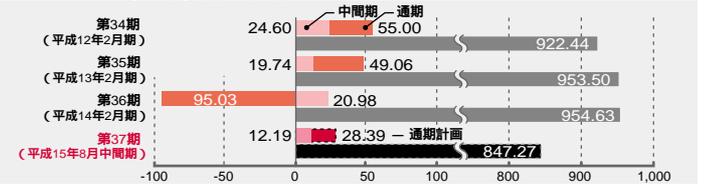
売上高 (単位:百万円)



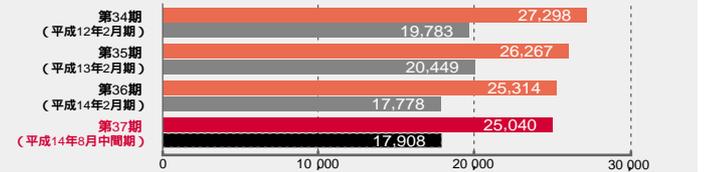
経常利益/当期(中間)利益 (単位:百万円)



1株当たり当期(中間)利益/純資産 (単位:円)



総資産/純資産 (単位:百万円)



当社の貸借対照表および損益計算書

中間貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	当中間期末 平成14年8月31日現在	前中間期末 平成13年8月31日現在	前期末 平成14年2月28日現在
資産の部			
流動資産	10,660	12,240	10,480
固定資産	14,380	15,567	14,834
資産合計	25,040	27,808	25,314
負債の部			
流動負債	6,746	6,904	7,145
固定負債	384	429	390
負債合計	7,131	7,334	7,536
資本の部			
資本金	4,226	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171	4,171
利益準備金	590	590	590
剰余金	9,126	11,472	8,995
資本合計	17,908	20,473	17,778
負債・資本合計	25,040	27,808	25,314

損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	当中間期 自 平成14年3月1日 至 平成14年8月31日	前中間期 自 平成13年3月1日 至 平成13年8月31日	前期 自 平成13年3月1日 至 平成14年2月28日
経常損益の部			
営業収益	18,240	26,211	40,220
営業費用	17,656	25,607	40,355
営業利益	584	604	135
営業外収益	142	293	553
営業外費用	244	16	51
経常利益	482	880	366
特別損益の部			
特別利益	10	60	166
特別損失	19	210	4,026
税引中間(当期)利益	474	730	3,493
法人税、住民税及び事業税	9	317	60
法人税等調整額	207	36	1,526
中間(当期)利益	257	449	2,027
前期繰越利益	806	960	960
中間(当期)末純利益	1,064	1,410	1,066

第37期目標

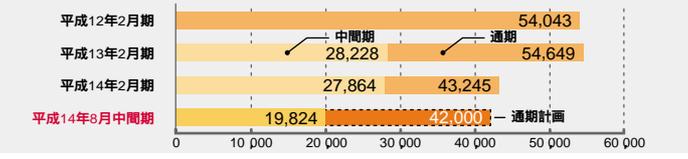
(単位:百万円)

売上高	38,000
経常利益	1,150
当期純利益	600
1株あたり年間配当	12円

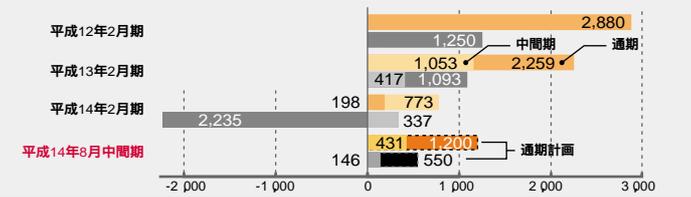
連結での営業成績および資産状況の推移

連結対象子会社: ミスタースタミン(株)、(株)ケンショク、鳴尾興産(株)、FREMONT BEEF COMPANY、フォエム食品加工(株)

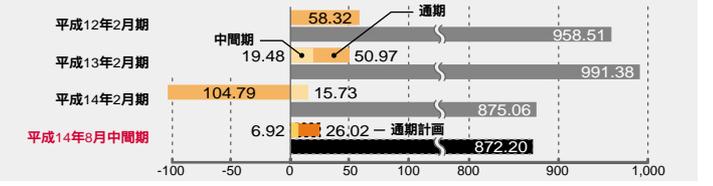
売上高 (単位:百万円)



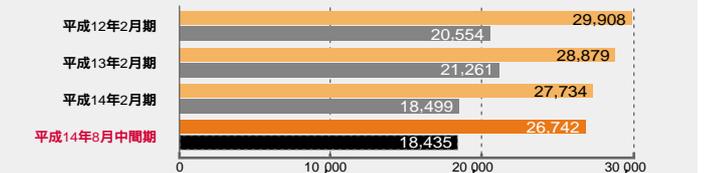
経常利益/当期(中間)利益 (単位:百万円)



1株当たり当期(中間)利益/純資産 (単位:円)



総資産/純資産 (単位:百万円)



連結での貸借対照表および損益計算書

連結対象子会社: ミスタースタミン(株)、(株)ケンショク、鳴尾興産(株)、FREMONT BEEF COMPANY、フォエム食品加工(株)

中間貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

	平成14年8月中間期末 平成14年8月31日現在	平成13年8月中間期末 平成13年8月31日現在	前期末 平成14年2月28日現在
資産の部			
流動資産	11,759	13,826	12,129
固定資産	14,983	16,493	15,604
資産合計	26,742	30,319	27,734
負債の部			
流動負債	7,252	7,427	8,067
固定負債	419	986	434
負債合計	7,672	8,413	8,502
少数株主持分	633	666	732
資本の部			
資本金	4,226	4,226	4,226
資本準備金	4,171	4,171	4,171
連結剰余金	10,219	12,773	10,200
自己株式	196	0	194
資本合計	18,435	21,238	18,499
負債、少数株主持分及び資本合計	26,742	30,319	27,734

損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

	平成14年8月中間期末 自 平成14年3月1日 至 平成14年8月31日	平成13年8月中間期末 自 平成13年3月1日 至 平成13年8月31日	前期 自 平成13年3月1日 至 平成14年2月28日
経常損益の部			
営業収益	19,824	27,864	43,245
営業費用	19,238	27,260	43,465
営業利益	586	603	220
営業外収益	93	211	499
営業外費用	249	41	80
経常利益	431	773	198
特別損益の部			
特別利益	18	81	114
特別損失	85	212	3,958
税金等調整前中間(当期)利益	364	642	3,646
法人税、住民税及び事業税	19	356	114
法人税等調整額	206	59	1,558
中間(当期)利益	146	337	2,235

第37期目標

(単位:百万円)

売上高	42,000
経常利益	1,200
当期純利益	550

連結キャッシュ・フローの状況(単位:百万円)

科目	平成14年8月中間期	平成13年8月中間期
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,077	638
投資活動によるキャッシュ・フロー	249	82
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,176	298
現金および現金同等物の期末残高	1,972	1,168

エスフーズ会社概要

<p>役員 取締役社長 森島 征夫 取締役 富沢 進 取締役 朝永 直樹 取締役 田中 基裕 取締役 旦 有孝 取締役 田中 正紹 常勤監査役 大広 雄二郎 監査役 小西 英雄 監査役 中野 正信</p> <p>設立 昭和42年5月22日</p> <p>資本金 42億2,664万円(平成14年8月末現在)</p>	<p>従業員数 376名 (男性315名・女性61名、平成14年8月末現在)</p> <p>年間売上高 402億円(平成14年2月期実績)</p> <p>事業内容 食肉類の加工販売 食肉加工品の製造及び販売 ソース、調味料の製造及び販売</p> <p>系列会社 ミスタースタミナ株式会社 株式会社ケンショク 株式会社味兆 フォエム食品加工株式会社 FREMONT BEEF COMPANY 五愛焼肉コンセプト株式会社 すこやか食品株式会社 五愛フードサービス株式会社(平成14年9月、株式会社静岡味兆に社名変更しております。) 鳴尾興産株式会社</p>	<p>事業所 本社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065(代表)</p> <p>東京本社 〒273-0014 千葉県船橋市高瀬町24番38 TEL.047-435-0811(代表)</p> <p>支店 名古屋、九州</p> <p>営業所 札幌、仙台、茨城、船橋、北関東、八王子、横浜、静岡、 長野、岡崎、東海西、京都、西宮、りんくう、和歌山、 姫路、岡山、広島</p> <p>工場 西宮、西宮第二、船橋</p>
---	---	---

主なグループ企業

<p>連結子会社</p> <p>ミスタースタミナ株式会社 (主な事業:食肉の小売) 兵庫県尼崎市武庫川町1-4-6 設立:1977年3月 資本金:8,000万円 持株比率:100%</p> <p>FREMONT BEEF COMPANY (主な事業:食肉の加工等) 米国ネブラスカ州 設立:1989年4月 資本金:US\$1,000 (この他に払込剰余金US\$5,999,000) 持株比率:55%</p>	<p>株式会社ケンショク (主な事業:食肉の加工等) 静岡県静岡市中吉田8-2-3 設立:1963年8月 資本金:6,800万円 持株比率:100%</p>	<p>鳴尾興産株式会社 (主な事業:不動産賃貸) 兵庫県西宮市鳴尾浜1-2-2-13 設立:2002年2月 資本金:9,000万円 持株比率:100%</p>	<p>フォエム食品加工株式会社 (主な事業:食肉の加工等) 千葉県船橋市浜町3-2-3 設立:2002年2月 資本金:5,000万円 持株比率:100%</p>
--	---	--	---

「こてちゃんもつ鍋」 強力複合キャンペーン実施!

春、夏、大好評だった「こてちゃん20周年キャンペーン」に続く第2弾。今回は、一般消費者の方々に加え、日頃ご愛顧いただいているディーラー(お得意先)様へも素敵なプレゼントをご用意。さらに強力なTVCFプロモーションで消費者キャンペーンの告知浸透と購買喚起を図り「こてちゃんもつ鍋」キャンペーンを立体的に盛り上げてまいります。



- 1 こてちゃんもつ鍋10周年記念。 「おいしさカンタン鍋プレゼント」**

こてちゃんオリジナル「ひとつの鍋で2つの味が楽しめる2食鍋セット」を抽選で2,000名様にプレゼント。


- 2 消費者の方々&ディーラー様への告知浸透。 TVCF強力メディアプロモーション**

10月初旬~11月末まで2ヶ月間にわたりTVCFを投下しキャンペーンをバックアップ。


- 3 ディーラー様への感謝をこめて。 「秋冬ごきげんグッズプレゼント」**

日頃の感謝の気持ちと営業促進策の一環として、お店で役立つデジカメや電子レンジなどをプレゼント。

